

製品名: Smad5 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17999**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	52kDa

抗原情報

遺伝子名	SMAD5
別名	SMAD5; MADH5; Mothers against decapentaplegic homolog 5; MAD homolog 5; Mothers against DPP homolog 5; JV5-1; SMAD family member 5; SMAD 5; Smad5; hSmad5
遺伝子 ID	4090.0
SwissProt ID	Q99717
免疫原	ヒト Smad5 の内部領域から得られた合成ペプチド。

背景

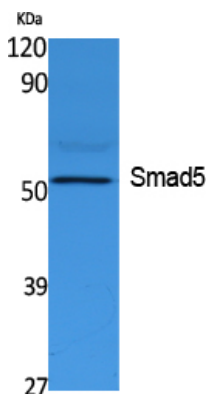
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、造血前駆細胞の増殖を阻害する形質転換成長因子 β シグナル伝達経路に関与してい

ます。コードされるタンパク質は、骨形成タンパク質 (BMP) 1 型受容体キナーゼによって活性化され、がんに関連している可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2014 年 2 月]、機能: BMP (骨形成タンパク質) 1 型受容体キナーゼによって活性化される転写調節因子。 SMAD5 は、受容体制御性 SMAD (R-SMAD) です。 ,PTM: BMP (骨形成タンパク質) タイプ 1 受容体キナーゼによってセリンがリン酸化されます。 ,PTM: SMAD 特異的 E3 ユビキチンリガーゼ SMURF1 によるユビキチン介在タンパク質分解。 ,類似性: dwarfin/SMAD ファミリーに属します。 ,類似性: 1 つの MH1 (MAD 相同性 1) ドメインを含みます。 ,類似性: 1 つの MH2 (MAD 相同性 2) ドメインを含みます。 ,細胞内局在: リガンド非存在下では細胞質内。 SMAD4 と複合すると核に移行します。 ,サブユニット: 共 SMAD である SMAD4 と三量体を形成することがあります。 PEBP2 アルファ サブユニットおよび SMURF1 と相互作用します。 SUV39H1 および SUV39H2 と相互作用します。 ,組織特異性: 普遍的。 ,

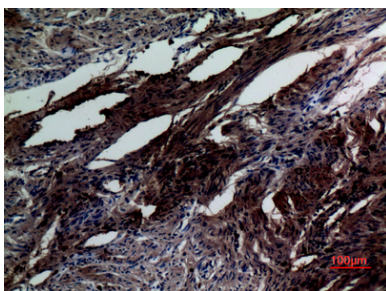
研究分野

TGF-ベータ;

画像データ



Smad5 ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



パラフィン包埋ヒト子宮の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された